

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における実施状況
(ダイジェスト版)

生きがい・介護予防分野における 第三次高齢者支援計画（平成24～26年度）の目指すもの

《基本理念》

家庭、地域、社会全体で安心のきずなを結び、すべての市民が生涯を通じてその人らしく、いきいきと活躍できる“参画と共生のまちづくり”

～高齢者とその家族を地域で見守り、互いに支え合い、誰もが社会の一員としてまちづくりに参画できる地域社会の実現～

【基本目標】

いきいきと生活し、積極的に社会参加できるまち

【施策の方向性】

1 健康づくり・介護予防の充実

2 生きがい・社会参加・地域活動の推進

【基本的な施策】

1 生涯を通じた健康づくり、介護予防の推進
2 効果的な介護予防の取り組みの推進
3 健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実

1 教養・文化・スポーツ活動の促進
2 社会参加のための人材育成・環境づくり
3 多様で主体的な社会貢献活動の促進

1 基本的な考え方

誰もが高齢期を迎える以前から健康づくりや介護予防に主体的に取り組む環境づくりを進めるとともに、高齢者の豊かな経験や多様な価値観を尊重し、生きがいを持って積極的に社会参加できる環境づくりに取り組むことにより、すべての市民が生涯を通じて、自らの持てる力を十分に発揮できるまちづくりを目指します。

2 各施策の方向性

【施策の方向性1】健康づくり・介護予防の充実

健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及啓発、各種検診や健診後の保健指導を通じた生活習慣病予防・重症化予防を進めるとともに、要介護状態等となるおそれの高い高齢者の早期把握・早期支援、地域における健康づくり・介護予防活動を促進するための人材育成・環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

（基本的な施策1）生涯を通じた健康づくり・介護予防の推進

生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するため、各種教室やイベント等を通じた健康づくり・介護予防に関する正しい知識の普及啓発、生活習慣病予防・重症化予防を目的とした各種検診や健診後の保健指導などに取り組んでいきます。

主な事業

○健康マイレージ

- ・参加者数 H23：9,440人 → H24：15,544人 [H26目標：20,000人]
- ・事業登録数 H23：1,753件 → H24：3,916件

○みんなで歩こう北九州

- ・H24年度は129市民センター単位でウォーキングマップを作成・配置
- ・H25年度はウォーキングマップを活用したイベントを実施予定
[H26目標：参加市民センター数129市民センター]

※H23年度は「みんなで歩こう1万キロ」として実施

参加チーム数 301チーム 参加者数 903名

○北九州市国民健康保険特定健診・特定保健指導

- ・特定健診受診率 H23：31.1% → H24：31.5% [H24目標：65%]
- ・特定保健指導実施率 H23：27.5% → H24：集計中 [H24目標：45%]

○介護予防に関する普及・啓発事業

- ・実施回数 H23：1,592回 → H24：1,687回
※出前講演、各種教室・イベント等で介護予防事業を普及啓発した回数
- ・参加延人数 H23：16,585人 → H24：16,121人
[H26目標：介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合40%]
※別添「25年度講演会開催案内」

○公園で健康づくり事業

- ・教室参加者数 H23：107人 → H24：161人 [H26目標：110人]
- ・H24年度

「普及員養成講座」 4回×2会場(夜宮公園・勝山公園)で実施

「トレーニング教室」12回×1会場(香月中央公園)で実施

「普及教室」 4回×1会場(大島・大島2号公園)で実施

「ひまわり太極拳と健康遊具体験教室」1回×4会場で実施

※H23年度はモデル事業。24年度から本格実施。(別添「事業リーフレット」)

(基本的な施策2) 効果的な介護予防の取り組みの推進

高齢者の生活状況や健康状態を確認するための基本チェックリストや様々な社会資源活用によって要介護状態等となるおそれの高い高齢者の早期把握に努めるとともに、高齢者の心身の状態に応じて通所型や訪問型の介護予防事業などによる支援を充実させ、より多くの高齢者を対象とした効果的な介護予防の取り組みを進めていきます。

主な事業

○二次予防事業対象者把握事業

| | | |
|--------|-------------|----------|
| 24年度実績 | 発送件数 | 103,295件 |
| | 二次予防事業対象者決定 | 15,430件 |
| | プログラム参加者数 | 3,031件 |

○通所型介護予防事業

要介護状態の恐れがある高齢者に対して「運動器の機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「複合型(運動・栄養・口腔)プログラム」を提供。

・教室参加者数 H23：656人 → H24：728人 [H26目標：1,270人]

※複合型プログラムは平成25年度から開始。

(基本的な施策3) 健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実

市民がより身近な場所で主体的・継続的に健康づくりに取り組みことができるよう、地域における健康づくりや介護予防活動のけん引役となる人材の育成・活動支援、地域のネットワークの連携強化、市民センターや公園など身近な施設を活用した健康づくり事業などに取り組み、地域における健康づくり・介護予防活動を促進します。

主な事業

○市民センターを拠点とした健康づくり事業

・実施まちづくり協議会数 H23：97団体 → H24：108団体

→ H25：111団体予定 [H26目標：136団体]

【施策の方向性2】 生きがい・社会参加・地域活動の推進

多様なライフスタイルに対応した教養・文化・スポーツ活動を通じて、仲間とふれあい、充実した生活を送ることのできる生きがいづくりを進めます。

また、高齢者が地域社会とつながりを持ち続け、豊かな知識や経験を活かしながら、世代間の交流や見守り・支援など多様な地域活動に主体的に取り組み、地域社会の担い手として活躍することのできる環境づくりを進めます。

(基本的な施策1) 教養・文化・スポーツ活動の促進

高齢者が教養・文化を学ぶ場やスポーツ活動等の機会を提供するとともに、これらの活動を通じて高齢者が仲間と「ふれあい」ながら、いきいきと生活できるまちづくりを進めます。

主な事業

○年長者研修大学校及び北九州六生ドーム運営事業

・延利用者数 H23：194,188人 → H24：193,679人

[H26目標：200,000人]

(基本的な施策2) 社会参加のための人材育成・環境づくり

年長者研修大学校や生涯現役夢追塾等での講座を通じて、地域社会の担い手としての高齢者の人材育成を進めます。また、活動へのきっかけづくりや社会貢献活動に関する情報提供の新たな仕組みづくりを進めるとともに、活動の場の提供や高齢社会に関する啓発など、様々な取り組みを推進し、高齢者が社会に参加できる環境づくりを進めます。

主な事業

○高年齢いきがい活動支援事業

高齢者が参加しやすい社会活動情報（ボランティア活動、生涯学習活動など）の提供。

24年度閲覧件数（HP 3,254件 窓口 1,088件）

○市制50周年記念事業生涯現役夢追いサミットの開催

平成25年2月23日開催 参加者数430人

(基本的な施策3) 多様で主体的な社会貢献活動の促進

高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かしながら、地域活動や就労を通して社会との「つながり」を持ち続け、いきいきと活躍できるよう、意欲と能力に応じた様々な分野での高齢者による主体的な社会貢献活動を促進します。

主な事業

新介護支援ボランティア制度の実施

25年度登録開始（8月末時点 ボランティア登録者数 767人）